

岩泉町立小川小学校 第1学年 道徳科指導案

日 時 令和4年11月10日(木) 5校時
児 童 1年 7名
授業者 小野寺 裕也

主体的に学び続ける児童の育成
～振り返りにおける活動の工夫を通して～

- 1 主題名 こまっているともだちに 【B－(9) 友情、信頼】
教材名 「くりのみ」(出典「新・みんなのどうとく1」学研教育みらい)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

本指導内容は、友達関係における基本とすべきことであり、友達との間に信頼と切磋琢磨の精神をもつことに関するものである。

友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築される。時には、友達の立場を理解したり自分と違う考えを受け入れたりすることが難しいこともある。しかし、学級で共に勉強したり、遊んだり、困っている友達を助けたり助けられた時の嬉しさを感じたりする経験を通して、友達のよさを感じられるようになる。

低学年においては、自己中心的に物事を考えてしまう傾向が強く、自分の思いのほうに流れてしまうことが多い。しかし、学級での生活の中で、友達のよさをより強く感じるができる時期でもある。そこで、助け合ってよかったことを想起させ、困っている友達の気持ちを押し量り、互いに助け合っていこうとする意欲を高められるようにしたい。

(2) 児童の実態【児童観】

本学級では、どの児童も積極的に話をしたり遊んだりし、楽しく学校生活を送っている様子が見られる。大きな喧嘩やトラブルも少なく、みんな一緒に休み時間を過ごすことが多い。帰りの会の「今日のスター」では、友達の頑張っていた姿、すてきだなと感じた姿、すごいなと思った姿など、その日のスターを見つけ発表している。その中で、しぜんと互いに「すごいね」「がんばれ」など、称賛したり励まし合ったりする姿も、学級の良さである。

しかし、自分の思いを優先し行動してしまう傾向が強い。遊びの中で夢中になると、友達の気持ちを押し量れず自分優先の行動や言動が増えてしまうことがある。友達の立場や考えを理解し、互いに助け合っていこうとする心はまだ十分に育っていない。

このような実態から、友達と仲よく活動することの楽しさや嬉しさについて触れ、友達の立場になって考えてみることも大切であることに気付かせたい。また、困っているときは互いに助け合い、思いやりの心をもって生活していきたいという意欲を高めていきたい。

(3) 教材の特質と活用方法

本教材は、友達に助けられたときの気持ちを考えることを通して、ねらいに迫るものである。きつねは、どんぐりを見つけたにもかかわらず、それを一人で食べたり、落ち葉で隠したり、何も見つからないとうそをついたりする。うさぎは、二つしかないくりのみのうちの一つをきつねに渡す。対比的に描かれている二匹の様子から、友達とどのような関係を築いていくことが大切なのかを考えさせることができる教材である。

自分の思いを優先したり、嘘をついてしまったりすることは、この時期の児童に十分起こり得る行為である。誰もがそのような人間的な弱さをもっている中で、どのように考えたり行動したりするとよいのかを考えることができる。そして、友達のよさや相手を思いやることの大切さ、互いに助け合うことの大切さを感じることでできる教材である。

3 他の教育活動との関連

| 本時 | 「くりのみ」 (友情、信頼) | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|---|---|------------------------|---|---|--|---|--|---|---|--|-----------------------|
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 行事 | ○給食開始 給食の準備や盛り付け、後片付けについて知ろう。 | ○運動会 友達と力を合わせて頑張り、得た達成感を共有しよう。 ○縦割り班清掃 他学年のみんなと仲良くなり、協力して掃除をしよう。 | ○生活科見学 誰とでも仲良く協力し、みんなで楽しい校外学習にしよう。 | | | | ○町ロードレース大会 みんなでなかよく楽しくマラソンに取り組み、体力向上を目指そう。 ○学習発表会 みんなで協力し、一つのものをつくりだす喜びを味わおう。 | | | | | ○校内なわとび大会 みんなでなかよく楽しく縄跳びに取り組み、体力向上を目指そう。 ○6年生を送る会 感謝の気持ちを伝えるために、全校みんなで協力し、会を成功させよう。 | ○修了式 1年間の成長を振り返ろう。 |
| 教科 | 【国語】 どうぞよろしく集まって話そう 【生活】 がっこうだいすき 【音楽】 歌って踊ってなかよくなる 【学活】 1年生の学級目標「なかよし」について | 【国語】 ききたいな友達のほなし 【学活】 わくわく！一人一役当番表！ 【体育】 運動会練習 | 【国語】 おおきなかぶ 【体育】 ボール投げ遊び | 【学活】 1学期がんばった会をしよう！ | | 【生活】 いきものと仲良し 【学活】 2学期も「なかよし」で頑張りよう！ 頑張ろう、係活動！！ | 【国語】 くじらぐも 【生活】 たのしいあきいっぱい 秋のおもちやをつくろう 【学活】 係の仕事を見直そう！ | 【国語】 友達のこと、知らせよう 昔話を読もう 【図工】 はこで作ったよ | 【生活】 むかしから伝わる遊びを楽しもう 【図工】 はこで作ったよ 【学活】 クリスマスパーティーをしよう！（お楽しみ会） | 【生活】 たこあげをしてみよう！ 雪や氷で遊ぼう 【学活】 さいごまで「なかよし」だ！！ 3学期のめあてをたてよう！ | 【国語】 これはなんでしょう 【生活】 雪や氷で遊ぼう もうすぐ2年生 【音楽】 みんなで合わせて楽しもう | 【国語】 いいこといっぱい1年生 【生活】 もうすぐ2年生 【音楽】 みんなで合わせて楽しもう 【学活】 1年生のあゆみ | |
| 道徳 | | 「はやとのゴール」(親切、思いやり) 相手のことを考えて、優しく接することの大切さが分かり、親切な行為をしていこうとする態度を養う。 | | | | なかよしのつぼを、みんなの実で、パンパンにしよう！ | 「じゃんけんぼん」(公正・公平・社会正義) 自分の好き嫌いとらわれずによく考えて行動することのよさに気付き、誰に対しても公正・公平に接しようとする心情を育てる。 | 「くりのみ」(本時) 身近な友達と仲良く活動し、助け合うことの大切さに気付き、困っているときには互いに助け合おうとする心情を育てる。 | | | | 「二つの小鳥」(友情・信頼) 寂しい思いをしているであろう友達の気持ちを考えて相手の立場を理解し、思いやりの大切さに気付き、友情を深めていこうとする心情を育てる | |
| 日常 | ○休み時間は、みんなでなかよし！ ルールを守って、みんなが楽しくなるように遊ぼう。 | | | | | 中間振り返り | | | 中間振り返り | | | 1年間の振り返り | |
| | ○帰りの会「今日のスター」 1日を振り返って、いいな、すごいなと思った友達を紹介し、なかよしボールを貯めよう。 | | | | | 中間振り返り | | | 中間振り返り | | | | |
| 変容 | 新たな小学校生活！ みんなで仲良く楽しく、けんかしないで過ごしたい。 | 友達や地域の人にも、優しくできるといいなあ。 他学年のみんなと仲よくできるといいなあ。 | 生活科見学でいろんな友達や上学年と、みんなで楽しく活動できてよかった！楽しかった！ | | | 2学期もみんなと仲良く過ごしたいなあ。 学校生活も慣れてきたし、友達とたくさん遊ぶぞ！ | 自分勝手に行動してたことがあったなあ。相手のことも考えてみたいなあ。みんなが楽しく遊べそうだなあ。 | 困っている友達がいたら助けよう！ 助け合えると、みんな嬉しいし楽しいし、笑顔になるね！ | みんなで協力して楽しい会になってよかったね！ またみんなでやりたいなあ。 | 1年生もあと少し！みんなのことを考えて、楽しく勉強して遊んで、なかよしで1年生を修了しよう！ | | みんなで仲良く過ごせた1年だったね。2年生もなかよしで頑張りようね！ | |
| 評価の方法 | | ・道徳の学習での発言や記述 | | | | | | ・道徳の学習での発言や記述 | ・道徳の学習での発言や記述 | | | ・道徳の学習での発言や記述 | |

4 本時の指導

(1) ねらい

主人公に自分を重ねて考え話し合い、友達と仲よく助け合っていくことの良さに気づき、困っているときには互いに助け合おうとする意欲を養う。

(2) 学習指導過程

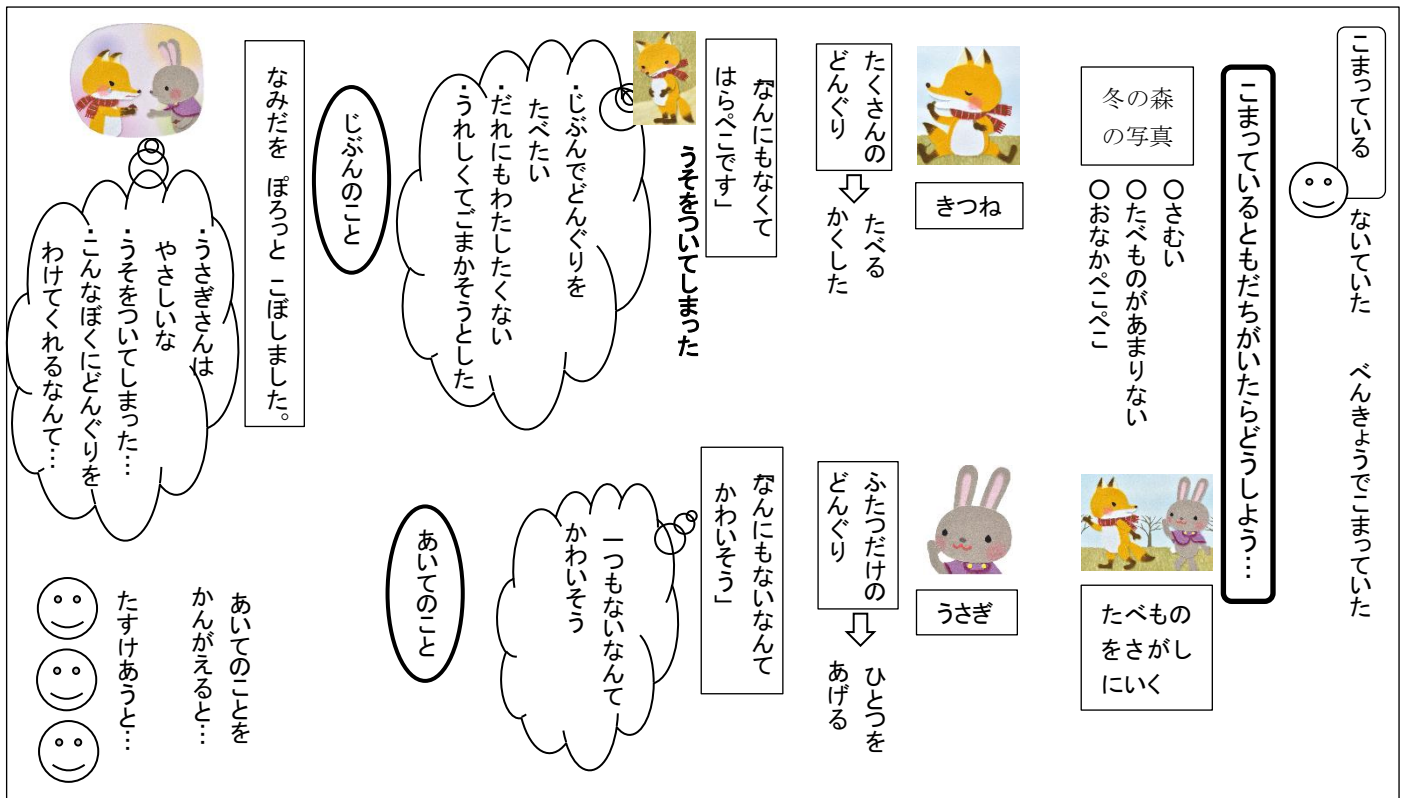
| 段階 | 学習活動と主な発問 (◎中心発問・○発問) | 予想される児童の反応 | 指導上の留意点(・) 評価(□) |
|-----------|---|---|--|
| 導入 5分 | <p>1 価値に関わる関心を持ち、課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校で、困ったなと思ったときはどんなときですか。 困ったときにどんなことをしてもらいましたか。 困っている友達がいたらどうしていましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> 忘れ物をしたとき 勉強が分からなかったとき 教えてもらった 声をかけてもらった 助けてあげた 声をかけてあげた | <ul style="list-style-type: none"> 授業開始前に「なかよしの実」を紹介し、本時への課題意識をもたせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>手立て1 振り返りを生かした導入</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 事前に「友達アンケート」を取り、実態を把握しておくと共に、適宜紹介する。 |
| 展開 30分 | <p>2 教材について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面を把握する (パワーポイントを使い、教材の提示をする。) <p>○きつねさんは、なぜ嘘をついてどんぐりを隠してしまったのか、考えてみましょう。</p> <p>◎きつねさんは、なぜ涙をながしたのか、考えてみましょう。 (役割演技)</p> <p>教師：うさぎ 「二つ見つけたので、一つあげます。」</p> <p>児童：きつね 「なみだをぼろっとこぼす。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 自分でどんぐりを食べたいから。 誰にも渡したくないから うさぎさんに知られたくないから。 嘘をついてしまったから。 うさぎさんからどんぐりを分けてもらったから。 うさぎさんの優しさを感じたから。 2つしか見つからなかったうちの半分もくれるのがすごいと思ったから。 | <ul style="list-style-type: none"> 冬の寒い様子、食べ物が少ない様子などの物語の背景をおさえる。 様々な気づきを整理して板書しながら、ねらいとする道徳的価値、発問へつなげる。 「きつねはただの意地悪」で捉えるのではなく、背景には冬で寒くて食べ物も簡単に見つからない現実があることを押さえ、誰にでもしがちな行動であることを理解させる。 うさぎの優しさを感じることで、涙を流したり、助け合うことの良さに気付いたり、自分の行動を反省したりするなど、きつねの気持ちが変わったことを押さえるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>手立て2 課題解決のための中間振り返り</p> </div> |

| | | | |
|-----------------------------|---|---|--|
| <p>展 開 30 分</p> | <p>○このあと、きつねさんはどう したでしょう。 (役割演技の続き)</p> <p>①教師と児童 ②二人一組で ③みんなの前で</p> | <p><うさぎ> 「二つ見つけたので、一つあげ ます。」</p> <p><きつね> ・ありがとう。 ・じつはぼくも見つけたんだ。ど うぞ。 ・いっしょにさがそう。 ・ごめんね。嘘ついちゃった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・傍観者は、演技者の表情やせり ふの言い方、仕草などにも着 目させて考えさせるようにす る。(演技を見る観点) ・助け合うことの良さについて 考えを広げられるようにす る。 ・表情カードを使いながら、行動 面だけでなく、心情面につい ても考えられるようにする。 |
| <p>終 末 10 分</p> | <p>3 学習の振り返りをする。</p> <p>○困っているお友達がいたらど うしますか。なかよしの実に 書きましょう。</p> <p>○教師の説話</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・助け合いたい。 ・声をかけてあげたい。 ・一緒に協力したい。 ・友達の気持ちを考えてあげた い。 ・どうしたら助けられるか考え てあげたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・導入に戻り、「こんなときどう する。」と、考える視点を与 えるようにする。 ・なぜ、そのようなことをしてい きたいのかを問い、心情面も 育むようにする。 <p>□学習を通して、仲良く助け合 うことの良さについて、考え を深めることができたか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>手立て3 年間を通して視点をもたせた 振り返りを生かした意欲付け</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級目標「なかよし」と関連さ せながら、本時のねらいに関 わる児童の良いところを褒 め、実践意欲を高める。 |

(3) 評価の視点

困っている友達への対応について多面的・多角的に考え、仲良くしたり助け合ったりしながら生活してい
くことの良さについて、考えを深められることができたか。

(4) 板書計画



(5) 研究主題との関わり

学びのつながりを意識させるための振り返りの工夫

【手立て1：振り返りを生かした導入】

「なかよしのつぼ」の中から、前時あるいは本時の項目と類似した実の紹介をし、本時への意欲付けや、課題意識へと繋げる。また、終末での振り返りの視点につなげるために、今までの自分を振り返らせることで、1時間を通してねらいとする価値や自分について一貫して考えられるようにする。

【手立て2：課題解決のための中間振り返り】

役割演技を通して、「自分だったら」「この場面だったら」とじっくりと考える場を設定し、今までの自分を見つめ振り返ったり、こうするとよいかもしれないという考えをもったりすることで、道徳的価値にせまり、考えを深められるようにする。

【手立て3：年間を通して視点をもたせた振り返りを生かした意欲付け】

1時間の学習を通して、分かったことや考えたこと、これからどうしてみたいかなどの視点に沿って、「なかよしの実」を書き、つぼの中の実を増やす。なかよしの実を共有する時間を設け、これからの生活もよりよくしていこうという実践意欲を高める。

